

わたしから始める、世界が変わる

# Hunger Zero News

2019. 9  
No.350

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人 (内12人が子ども)  
1日に2万5,000人が  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています



## Contents

世界の飢餓状況  
国連が最新統計発表 P.2

**2019世界食料デー特集** P.4-7

- ちきゅう大家族 ~75億人の食卓~
- 開催日程 ●2018年の募金の使途



# 飢餓人口なお増加中…8億2,000万人以上に 依然として9人に1人が飢えに苦しむ



持続可能な開発目標(SDGs)



2015年9月の国連総会で、2030年までに「飢餓をゼロに」を達成するための「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されましたが、3年経っても飢餓の人口は減るどころか、増加しています。また、発育障害の子どもの数を半減させ、低出生体重児を減らすという目標への歩みも非常に遅く、栄養状態を改善するという目標の達成がさらに危うくなっています。

## 状況が最も厳しいアフリカとアジア

飢餓の蔓延率が世界で最も高いのはアフリカで、アフリカのどの地域でも飢餓の蔓延率が着実に上昇しています。特に東アフリカでは、人口の3分の1に近い人々(30.8%)が栄養不足に苦しんでいます。気候や紛争といった要因に加えて、経済の低迷と景気の悪化が飢餓の増加を助長しています。

飢餓人口の最も多い地域はアジアで(5億人以上)、その多くは南アジア諸国です。世界の発育障害の子ども10人中9人、消耗症(低体重)の子ども10人中9人がアフリカとアジアに集中しています。

南アジアとサハラ以南のアフリカ地域では3人に1人の子どもが発育障害です。発育障害と低体重の問題に加え、アジアとアフリカは、世界の子どもの肥満人口の75%近くが暮らしている地域でもあります。これは主に偏った食生活によるものです。

国連各機関の代表は、「私たちは、貧しい人々に対して包括的な構造変革を実施する必要があります。それは、経済の脆弱性を低減し、飢餓と食料不安、そしてあらゆる形態の栄養不良に終止符を打つための軌道から外れないよう、

人々に焦点をあて、コミュニティを中心に据えたものであるべきです」と述べました。

以上は2019年7月の「世界の食料安全保障と栄養の現状」という報告書によるものですが、ハンガーゼロは飢餓・貧困のない世界をめざしてこの「人々に焦点をあて、コミュニティを中心に据えた」活動を支援者の方々と共にこれまでも行ってきました。

本来地球上には世界人口の75億人が十分食べられるだけの食料があるにもかかわらず、9人に1人が飢餓に苦しんでいるのが現状です。一方、世界では生産された食べ物の3分の1が廃棄されていて、日本はこの「食品ロス大国」の1つでもあります。

## 2019世界食料デーが開幕

今年も9月から11月までハンガーゼロと各地の実行委員会による「世界食料デー大会」が全国28ヶ所で開かれ、現地で活動しているスタッフが現状を報告致します。是非お近くの大会に足を運んでください、世界の飢餓・貧困の状況とハンガーゼロの活動をお聞きください。

※P.4-7は「世界食料デー特集」



国連WFPのサイトから最新の2018年版ハンガーマップをダウンロードして入手できます。(無料)



ハンガーゼロ協力企業  
キングダムビジネスから



## HungerZero Calendar 地球家族 2020

# 2020年カレンダーが完成しました

コンパクトサイズですが、文字はくっきり見やすく改良

平素より世界の貧困と飢餓に苦しむ人々に思いを寄せ、Hunger Zero の働きにご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。

毎年多くのご利用を頂いています地球家族カレンダーの2020年版は、どの月も子どもたちの笑顔や躍動感あふれる人々の写真で構成されたオリジナル版です。開発途上にある国に暮らす人々、特にその国の将来を担う子どもたちが毎日飢えることなく食べ、元気に遊び、学び、安全で平和に暮らすことができるようにとの願いを込めて作成しました。

是非お求めください。皆様のご利用をお待ちしております。

- ・数字が太く見やすくなりました。
- ・便利な書き込みスペースがあります。
- ・販売益の一部がハンガーゼロの活動に用いられます。
- ・消費税率の変更、送料など諸経費高騰のおり、従来のB3サイズを見直してA4版(掲示サイズはA3タテ420mm×297mm)に改定することで送料込みの価格が実現しました。(※但し例外もございます。下記参照)

### 新カレンダーの特長

**【価格】 1冊 1,100円 (税、送料込) 国内へのお届けに限ります。**  
 ※3冊までは郵便、レターパックで送料込みでお届け。(沖縄・北海道も含む)  
 ※4冊以上は宅配便で送料込みでお届け。但し、北海道と沖縄は1梱包につき800円をご負担いただきます。

**【お支払い】** 後払い

**【お申し込み】** (株)キングダムビジネスで検索

スマホはQRコードから

電話：06-6755-4877

FAX：06-6755-4888でも承ります。



**世**界の食料問題を考える日として1981年に国連が制定した日、それが10月16日「世界食料デー」です。世界の一人ひとりと協力しあい、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的としています。この日をきっかけに自分自身の生活を見直し、世界の人々と共に生きる生き方を実践しようとする人が増やされていくことが「世界食料デー」の願いです。ハンガーゼロ（日本国際飢餓対策機構）もこの趣旨に賛同し、同じ思いを持つ人々と共に行動してきました。今年も全国17地域28ヶ所で「世界食料デー大会」が開催されると共に、家庭で、学校で、職場でさまざまな取り組みが行われます。



会場では食料問題について学べるまんが版の小冊子が配布されます。  
●イラスト：みなみななみさん

## ちきゅう大家族 ~75億人の食卓~

2019年世界食料デーのテーマは、「ちきゅう大家族~75億人の食卓~」です。国連の最新情報では、飢餓人口は約8億2,160万人。3年連続で増加しています。この地球に生きる9人に1人が、人が生きる最低限の必要である「食」を得ることができないのが現実です。この世界が「誰もが当たり前には食べられる世界」、「誰もが当たり前を喜んで分かち合える世界」、そして「誰もが当たり前で生きられる世界」になるよう共に取り組んでいきましょう。

想像してみてください。この世界を一つの家族とたとえ、同じ食卓につきながら9人家族の内の1人が何も食べることができず、空腹のまま膝を抱えてうずくまっている姿を。私たちはその家族を目の隅において、あり余るほど豊かな食事をし、食べ残し、捨てることができるでしょうか。同じ家族として食卓に招きはしないでしょうか。

### なぜ食料は足りないのか

穀物生産は世界で約26億トン（国連食糧農業機関2017-2018概算値）、世界の75億人に平等に分配されれば1人あたり340kgになります。日本人の1人平均穀物消費



特にアフリカやアジアでは食料不足が深刻（写真エチオピア）

量は現状年間154kg（厚生労働省 国民健康・栄養調査2017年）です。世界人口を賄う食料は穀物だけでも十分あるはずなのに9人に1人が飢餓状態なのは、食料が不足しているのではなく、分配の不平等がそこに存在しているからです。

### 肉体的な飢餓だけではなく

ハンガーゼロは「善隣共生」という理念を大切にしています。これは私たち一人ひとりが善き隣人となって飢餓・貧困に苦しむ人々と共に生きていくことを表しています。現地のパートナー団体と協力して、そのコミュニティに生きる人々がどのような環境や状況の中でも絶望する事なく、すでに与えられている資源を見出せるよう励まし、それを活用する人々によって変革が行われることを願う働きです。それによって肉体的な飢餓だけではなく、人々の人生の豊かさ、可能性を回復させることができます。そしてそれが次の世代に継続され、大きな希望へと繋がってゆくものと確信しています。

今年も私たちの日常と途上国の人々の日常とが繋がっていることを覚え「わたしから始める、世界が変わる」を実践しましょう。私たちと一緒に愛の手を差し伸べてください。

### 2019世界食料デー「1食募金」の主な募金先

- ① インドネシア：母子栄養改善
- ② コンゴ民主共和国：共同農園・家畜飼育支援、地域リーダー育成
- ③ ケニア：学校トイレ・貯水タンク支援
- ④ フィリピン：子ども教育支援、地域リーダー育成

#### 募金の方法

郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構 「世界食料デー募金」と明記してください。ウェブサイトからも募金ができます。



# 2019 世界食料デー大会 開催スケジュール

地区	大会	事務局TEL	開催日	時間	主な内容	会場
北海道	札幌	011-683-5523	10/26 (土)	9:30	9時半/農産品・水産加工品販売 13時/講演(ハンガーゼロ黒坂栄司) 音楽(ハンガーゼロ親善大使 ナイト de ライト)	北星学園女子中高 スミス記念講堂
宮城	多賀城	03-3518-0781	9/29 (日)	14:00	講演(NPO法人いのちのパン大友幸証/ハンガーゼロ田村治郎) 音楽(ゴン・ミン)	多賀城市文化センター 展示室
	仙台	03-3518-0781	10/19 (土)	13:30	講演(ハンガーゼロ伊東綾) (地域支援ネット架け橋中澤竜生)	日本聖公会 仙台基督教会
千葉	千葉北	03-3518-0781	10/5 (土)	10:00	講演(ハンガーゼロ鶴若仰太) 現地報告(コンゴ民主駐在ジェローム・カセバ) 音楽(アルパと歌)	アミュゼ柏クリスタルホール
東京	Tokyo WFD+Gospel	03-3518-0781	10/22 (火)	15:30	14:30 ロビー販売 15:30 現地報告(FHアジア地域プロジェクトマネージャー アンドレア・ダンツ) 音楽(白鞘慧海 他) ※参加費要	お茶の水クリスチャンセンター 8F
神奈川	横浜	03-3518-0781	10/12 (土)	13:00	展示 10:30-16:00 現地報告(ポリビア駐在小西小百合) 音楽(ゴスペルコンサート)	横浜市栄公会堂
静岡	浜松	052-265-7101	11/9 (土)	14:00	講演(ハンガーゼロ黒坂栄司) 現地報告(ポリビア駐在小西小百合) 音楽(グレイスキックワイヤー・鈴木花安)	浜松ホーリネス教会
愛知	名古屋	052-265-7101	10/19 (土)	14:00	現地報告(FHアジア地域プロジェクトマネージャー アンドレア・ダンツ) 音楽(ボイス・オブ・ビジョン)	南山大学
滋賀	滋賀	077-579-3308	10/13 (日)	14:00	講演(FHアジア地域プロジェクトマネージャー アンドレア・ダンツ) 音楽(ニコラース、Zip Code 604、大津福音教会聖歌隊)	近江福音自由教会
京都	京都	075-952-3439	11/3 (日)	16:00	講演(ハンガーゼロ近藤高史) ※参加費要 現地報告・音楽(ハンガーゼロ親善大使 ナイト de ライト)	長岡福音自由教会
大阪	南大阪	0725-22-3585	9/28 (土)	14:00	現地報告(ポリビア駐在小西小百合) 音楽(泉大津市少年少女合唱団) 絵画コンクール表彰	テクスピア大阪 大ホール
	@きりたん	06-6652-2091	10/3 (木)	10:40	講演(ハンガーゼロ清家弘久) 現地報告・音楽(ハンガーゼロ親善大使 ナイト de ライト)	大阪キリスト教短期大学
	北大阪	072-635-4074	10/20 (日)	14:30	講演(ハンガーゼロ清家弘久) 現地報告(コンゴ民主共和国駐在ジェローム・カセバ)	茨木聖書教会
	東大阪	072-964-5144	10/26 (土)	14:00	講演(ハンガーゼロ安達燎平) 音楽(ハンガーゼロ親善大使ソン・ソルナム)	大阪シオン教会
	八尾河南	072-997-4838	11/2 (土)	14:30	講演(ハンガーゼロ安達燎平) ※参加費要 現地報告・音楽(ハンガーゼロ親善大使 ナイト de ライト)	グレース宣教会グレース大聖堂
奈良	奈良北	072-920-2225	10/19 (土)	13:30	講演(ハンガーゼロ黒坂栄司) 現地報告(コンゴ民主共和国民主駐在ジェローム・カセバ) 音楽(水野亜歴)	日本キリスト教団 奈良高畑教会
	奈良南	072-920-2225	10/20 (日)	14:30	講演(ハンガーゼロ黒坂栄司) 現地報告(ポリビア駐在小西小百合) 音楽(喜多ゆり/ファニーヴォイス)	基督兄弟団大和教会
兵庫	芦屋	0797-31-2093	10/6 (日)	14:00	講演(ハンガーゼロ清家弘久) 現地報告(コンゴ民主共和国駐在ジェローム・カセバ) 音楽(県立芦屋高等学校吹奏楽部)	芦屋福音教会
	宝塚	0797-73-6076	10/19 (土)	14:00	講演(ハンガーゼロ近藤高史) 現地報告(ポリビア駐在小西小百合) 音楽(ゴスペルクワイヤー "Grace of Heaven")	宝塚栄光教会
高知	須崎	03-3518-0781	11/9 (土)	14:00	講演(ハンガーゼロ安達燎平) パフォーマンス(徳島・手話劇団)	須崎市立市民文化会館
広島	広島	082-928-8071	10/6 (日)	14:30	講演(ハンガーゼロ田村治郎) ※参加費要 現地報告・音楽(ハンガーゼロ親善大使 ナイト de ライト)	広島バプテスト教会
山口	柳井	090-9623-1548	10/5 (土)	14:00	講演(ハンガーゼロ田村治郎) ※参加費要 現地報告・音楽(ハンガーゼロ親善大使 ナイト de ライト)	やないグレースチャペル
福岡	関門	093-381-4071	10/27 (日)	16:00	講演・現地報告(ハンガーゼロ田村治郎) 音楽(大宮香織=ピアニスト、シンガーソングライター)	クライストコミュニティ北九州チャペル
鹿児島	鹿児島	03-3518-0781	10/26 (土)	14:00	現地報告(ポリビア駐在小西小百合) 地元報告(フードバンクかごしま・かごしまホームレス生活者支えあう会) 音楽(宮井紀行・YMCAチアダンスチーム)	サンエールかごしま
沖縄	沖縄北部	098-943-9215	10/19 (土)	15:00	講演(ハンガーゼロ田村治郎) 音楽(ハンガーゼロ沖縄アンバサダー Saki/ゴスペルラップ TIM-NU)	名護栄光幼稚園
	沖縄中部		11/9 (土)	14:30	講演(ハンガーゼロ田村治郎) 音楽・報告(ハンガーゼロ沖縄アンバサダー前田進一郎) 音楽(県立コザ高等学校吹奏楽部)	うるま市健康福祉センター・うるみん
	沖縄南部		11/10 (日)	14:30	講演(ハンガーゼロ田村治郎) 音楽・報告(ハンガーゼロ沖縄アンバサダー前田進一郎) 音楽(ハンガーゼロ沖縄アンバサダー東江千鶴/Saki)	那覇バプテスト教会
	沖縄宮古		11/24 (日)	16:00	講演(ハンガーゼロ田村治郎) 音楽(県立宮古高等学校軽音部) 呼びかけ(こども親善大使)	宮古バプテスト教会

※日程・会場など変更する可能性があります。事前に各大会事務局あるいは東京事務局までお問い合わせください。※ FH= 国際飢餓対策機構

## 2019 世界食料デー大会 現地報告者

アンドレア・ダンツ [FHアジア地域プロジェクトマネージャー]

【ハンガーゼロ駐在員】

ジェローム・カセバ [コンゴ民主共和国]

小西小百合 [ポリビア多民族国]

※それぞれ出演する大会は日程表でご確認ください



アンドレア



ジェローム



小西

### ♪ハンガーゼロ親善大使

●ソン・ソナルム (東大阪)

●ナイトdeライト(徳島、京都、大阪2地区、広島、福岡)

### ♪ハンガーゼロ沖縄アンバサダー

●前田進一郎 (沖縄中・南部)

●東江千鶴 (沖縄南部)

●Saki (沖縄北・南部)

**ハプランスリサイクル**  
で寄付!  
詳しくは東京事務所まで  
**会場に回収箱設置**



募金総額 1,326万8,167円

## 5ヶ国の現地活動に用いました

※募金総額から事務経費と印刷費に674,167円(約5%)が使われています。

### フィリピン共和国 【支援額 408万円】

#### 試練にも果敢に立ち向かう村人たち

ハンガーゼロは、現地パートナー、ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン (HOLPFI) と協力して、ミンドロ島のマイ地区で地域住民が主体的に進める持続可能な開発 (VOC) の取り組みを 2015 年より継続して支援しています。



当初、地域のリーダーは「子どもたちに教育の機会を提供したい」と言って支援を要請してきました。それに対して HOLPFI は、「どのようにすれば、その願いをあなた方で達成できるでしょうか」と問いかけ、リーダーたちが政府機関と交渉する手助けをしました。その結果、教育省より分校開設が認められ、自前で教室をつくったことで、県より先生が派遣され、60 人の子どもたちが公的な教育を受けられるようになりました。

新年度は、地域の衛生環境改善プログラムを通して、地域リーダーたちの問題解決能力を更に引き上げました。また、金銭管理セミナーのフォローアップを行い、学校教育が始まったことで今後必要となってくる教育費を捻出するためのサポートをしました。

治安の悪化により、コミュニティの転居が 1 年前倒しておこなわれ、住民はマイ地区からアルサビ地区に移転しました。それに伴い、行政区がピナマラン県からソコロ県に移り、分校が所属する小学校も変わりました。しかし、新学期に間に合うように、村人らによって教室の移転がおこなわれ、今年は予定通り学校教育が始まる予定です。村の移転にあたり土地の管理者との交渉は難航を極めました。土地移転の書類作成には、地元行政機関が協力してくださり、必要な弁護士も与えられ、最終的には道が開かれました。新年度は、本校開設に向けてコミュニティのリーダー主導のもとに必要な手続きを進めていく予定です。

### コンゴ民主共和国 【支援額 450万円】

#### 持続可能な開発が 5 地区に拡大

ハンガーゼロは、現地パートナー、ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ (HOLC) と協力して、上カタンガ州のプヴェト地区で地域住民が主体的に進める持続可能な開発 (VOC) の取り組みを 2014 年より継続して支援しています。

ルブア、チャンブ、ルンキンダの 3 つの村は、HOLC のリーダートレーニングによるサポートを受け「一生懸命に働いて、外部支援に頼ることなく 1 日 3 食の食料を安定して得ることができるようになる」「安心して暮らせるように住居を整える」「男女の区別なく、村の子どもたち全員を学校に通わせる」という目標を立てて、コミュニティ共同農園、



家畜の飼育、子どもの教育という 3 つのプロジェクトに引き続き取り組んでいます。

2014 年にこの取り組みが始まった頃には、政府から期限付きで無償貸与されていたか、村長から借りていた土地



2018年世界食料デーは全国で29大会が開催され、各実行委員会では行政機関や地元の教会や学校、支援グループと力を合わせて大会を運営、支援の輪が広がりました。

を、2018年にはすべてのコミュニティが取得しました。村人たちは、共同農園の収穫から、まずは家族の食料を確保し、残りを売ったお金をコミュニティの共同資金として貯め、それをういて各村4ヘクタール(12,000坪)の土地を購入しました。土地を購入し耕地が増えたことで、今後収穫が増えることを期待しています。

こうした変化を観察していた近隣のカトゥルエンデ、カコノアという2つの村が新たに加わり、地域住民が主体的に進める持続可能な開発(VOC)の取り組みは、5つの村に広がりました。



## カンボジア王国 【支援額 106万1千円】

### 子どもが成長で保護者の意識が高まる

ハンガーゼロがチャイルドサポーターの支援をしているシェムリアップ州スバイレー地区では、16のコミュニティ保育園を対象に、シェムリアップ州の幼児教育省による教師トレーニングを実施しました。

学級管理、適切なアクティビティや教材の使い方、5歳児の学習状況を把握するためのツール、コミュニティ保育園に関する政府の基準などのトレーニングを受けた教師たちは、子どもたちの学びを最大化するための教授法がはっきりと

わかり自信を持つことができました。また、保護者たちがコミュニティ保育園に通わせる動機になるのは、子どもたちが目に見えて成長している姿なのだとを確認しました。

子どもたちが継続的にコミュニティ保育園に通うようになるには、保護者から預かった子どもたちに質の高い創造性のある学びを提供すること、そして、そのために前もってしっかりと準備をすることが大切であることを学びました。

また、同時に保護者がコミュニティ保育園に関連する活動に関わるよう積極的に働きかけていくことも重要であることを学びました。



## ケニア共和国 【支援額 185万3千円】

ナイロビ市郊外にあるシーブケア学校では、スラムに暮らす小・中学生350名を対象に学校給食が提供されました。

## ルワンダ共和国 【支援額 110万円】

南部州ニャンザにあるピース国際学校では、近隣の貧しい家庭から通う82名の子どもたちの教育費を支援しました。



ケニア シーブケアセンター

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18ヵ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。



## 2020年3月バングラデシュ・スタディキャンプの日程決定

日程: 2020年3月6~14日(9日間)  
費用: 調整中(確定次第お知らせいたします。)

募集人数: 12人(最少催行人数10人)

活動内容: 国際飢餓対策機構バングラデシュの活動視察。マチュパラ地区でのチャイルドサポートの活動視察、子どもたちの家庭訪問、異文化交流や伝統工芸作りの体験などを予定しています。

募集開始: 9月下旬以降  
問い合わせ: 東京事務所

## 今年もあなたのサポートチャイルドへクリスマスカードを送りませんか

翻訳作業の都合、2019年10月31日(木)を締め切り期日とさせていただきます。

11月以降もクリスマスカードの受付はいたしますが、クリスマスまでにお子様の手元にお届けできない場合がございますので、ご了承ください。できるかぎりお早目に事務局までお送りください。(尚、プレゼントの同封はご遠慮ください。また寄せ書きのお名前にはフリガナをお願いします)

## パン・アキモト秋元社長が「社会貢献賞」を受賞

パンの缶詰『救缶鳥』を通して、ハンガーゼロの活動に協力、支援してくださっているパン・アキモトの秋元義彦社長が、去る7月22日「社会貢献者表彰」(公益財団法人社会貢献支援団体)を受賞されました。これは、「広く社会の各分野におい



て、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされ、顕著な功績を挙げながら報われる機会の少なかった方々」を対象として授与されるものです。秋元義彦社長が開発した「パンの缶詰」は、災害の備蓄品であると同時に、賞味期限が近くなった商品を廃棄するのではなく被災地や開発途上国に送り、食料が不足している人々のために役立てられています。

世界食料デー告知のための  
インスタキャンペーン  
#ちきゅうFood  
ぜひ投稿で参加してね!



キャンペーンは世界食料デー「10月16日」まで続きます。ぜひ参加をお願いします



## 元ボリビア駐在員 清水美穂さんが逝去

1999年から2002年までFHボリビアのチャヤ地区で活動された清水美穂さんが7月19日に逝去され八ヶ岳で天国への葬送式が営まれました。FHボリビアで活動した最初の日本人スタッフでした。



※▶記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

## サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL 350号

<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月( )円 □(1000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月( )円 □(500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落とし申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落とし申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **4620** 口

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

ハンガーゼロで検索!

Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>  
eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト  
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1  
(広島) TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室  
(東北) TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782  
愛知 〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F  
TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132  
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メソソク米202号  
TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216  
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター